

「疼痛除去率調査中間報告」について

緩和ケア部会 部会長

笹良 剛史

報告事項

平成 22 年 11 月の協議会で提案し、調査の実行が承認されている「沖縄県におけるがん性疼痛除去率に関する調査」について、調査方法および集計シート等の資料が整い、各医療機関へ再依頼の準備段階に入っている。

現在のところ、豊見城中央病院、友愛会南部病院、琉球大学病院の 3 施設では既に調査を開始している（下記、豊見城中央病院と南部病院、データ参照）。

今後、協力依頼をする施設は下記のとおり：

- ・ 沖縄県立中部病院、那覇市立病院、琉大病院（がん拠点病院）
- ・ 北部地区医師会病院、沖縄県立宮古病院、沖縄県立八重山病院（がん拠点支援病院）
- ・ アドベンチストメディカルセンター、オリブ山病院、国立病院機構沖縄病院（ホスピス病棟を持つ施設）
- ・ 中頭病院、ハートライフ病院、豊見城病院、南部病院、南部医療センター・こども医療センター、喜納クリニック（緩和ケア部会委員のいる施設）
- ・ 赤十字病院（その他、緩和ケア認定看護師のいる施設）

（例）「沖縄県内除痛緩和率 6 月」

	豊見城	南部
除痛率	66.7%	75.0%
良眠化率	22.2%	100.0%
安静時無痛化率	33.3%	100.0%
体動時無痛化率	22.2%	87.5%
疼痛対策実施率	100.0%	100.0%

